

ヤマトグループ 連結決算概要

(2020年3月期 第3四半期)



ヤマトホールディングス

2020年1月31日

1. 2020年3月期 第3四半期決算（総括）

● 2020年3月期第3四半期の連結業績（累計）は「増収減益」

- ① プライシングの適正化を継続的に推進したことで、宅急便単価は上昇したものの、10月以降の消費増税等による個人消費の落ち込みや台風による災害の影響が重なったことなどにより、宅急便取扱数量が減少し、営業収益は想定を下回る結果となった
- ② 営業費用については、需要・荷量予測の精度を高め、データに基づき客観的かつ科学的な手法で経営資源の最適配置を行うことなどによりコストコントロールを推進したものの、その効果が営業収益の下振れを吸収できず、減益となった
- ③ 宅急便取扱数量に応じたコストコントロールを強化しているものの、消費増税の影響などにより荷動きがやや低調な中、宅急便取扱数量が弱含みで推移することを踏まえ、通期連結業績予想の下方修正を実施
 - ・営業収益 1兆6,300億円（前回予想差▲400億円）
 - ・営業利益 400億円（前回予想差▲220億円）
 - ・親会社株主に帰属する当期純利益 200億円（前回予想差▲120億円）
- ④ 経営構造改革プラン「YAMATO NEXT100」により、収益性を回復し、さらなる成長を目指す

第3四半期累計業績

連結営業収益： 1兆2,577億（前期差 + 113億 伸率 + 0.0%）

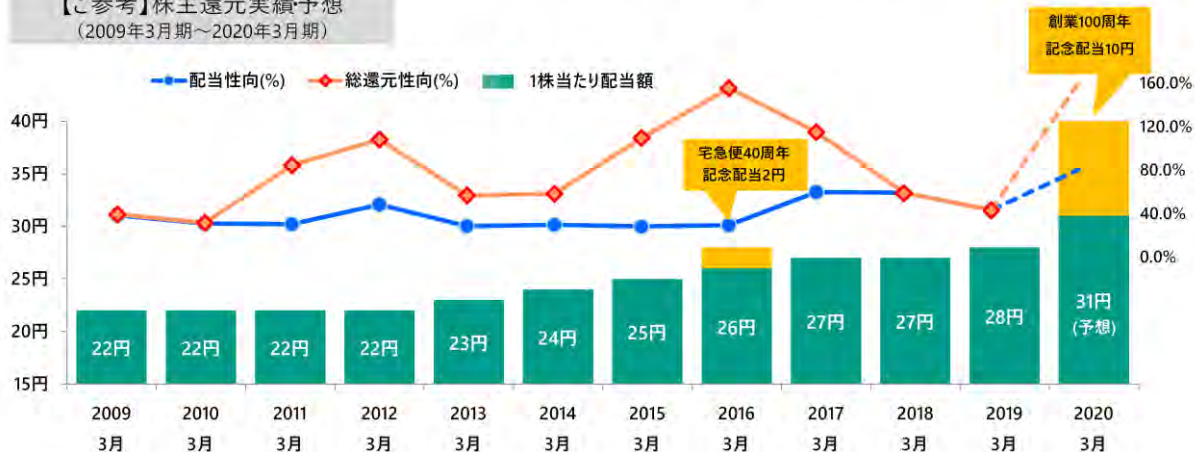
連結営業利益： 500億（前期差▲242億 伸率▲32.6%）

2. 2020年3月期 第3四半期決算（総括）

⑤ 株主還元（1月30日発表）

- ・ 創業100周年記念配当の実施（1株当たり10円）
⇒ 普通配当と合わせて 41円/年
- ・ 資本効率の改善を意識した自己株式の取得・消却（上限500億円）

【ご参考】株主還元実績予想
(2009年3月期～2020年3月期)



⑥ 当社と芙蓉総合リース株式会社による「ヤマトリース株式会社」共同事業化（1月30日発表）

1. 創業100周年記念配当

2019年11月29日をもって創業100周年を迎えることができ、これまでご支援いただいた株主の皆さまに感謝の意を表するため記念配当を実施

2. 自己株式取得・消却

- ・ これまで以上に資本効率を重視した経営に取り組む方針のもと、適時適切な資本政策を通じ、安定的な配当と機動的な株主還元策を検討
- ・ その方針に従い、500億円の自己株式の取得と消却を実施

3. ヤマトリース株式会社の共同事業化

パートナーとの連携による更なる事業成長、企業価値の向上を目指す

3. 2020年3月期 第3四半期決算（総括）

(単位：億円)	2019年3月期 第3四半期 累計実績	2020年3月期 第3四半期 累計実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
			営業収益	
デリバリー事業	10,067	10,165	+ 97	+ 1.0
ノンデリバリー事業ほか	2,508	2,411	▲ 96	▲ 3.9
合計	12,576	12,577	+ 1	+ 0.0
営業利益	743	500	▲ 242	▲ 32.6
(利益率)	5.9%	4.0%	-	-
経常利益	736	468	▲ 268	▲ 36.4
(利益率)	5.9%	3.7%	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	431	314	▲ 117	▲ 27.3
(利益率)	3.4%	2.5%	-	-

1. 営業収益 1兆2,577億（前期差+1億）

- (1) デリバリー事業： プライシングの適正化等により増収
- (2) ノンデリバリー事業： スポット案件の反動減、新規案件獲得の遅れ、引越サービス休止の影響などにより減収

2. 営業利益 500億（前期差▲242億）

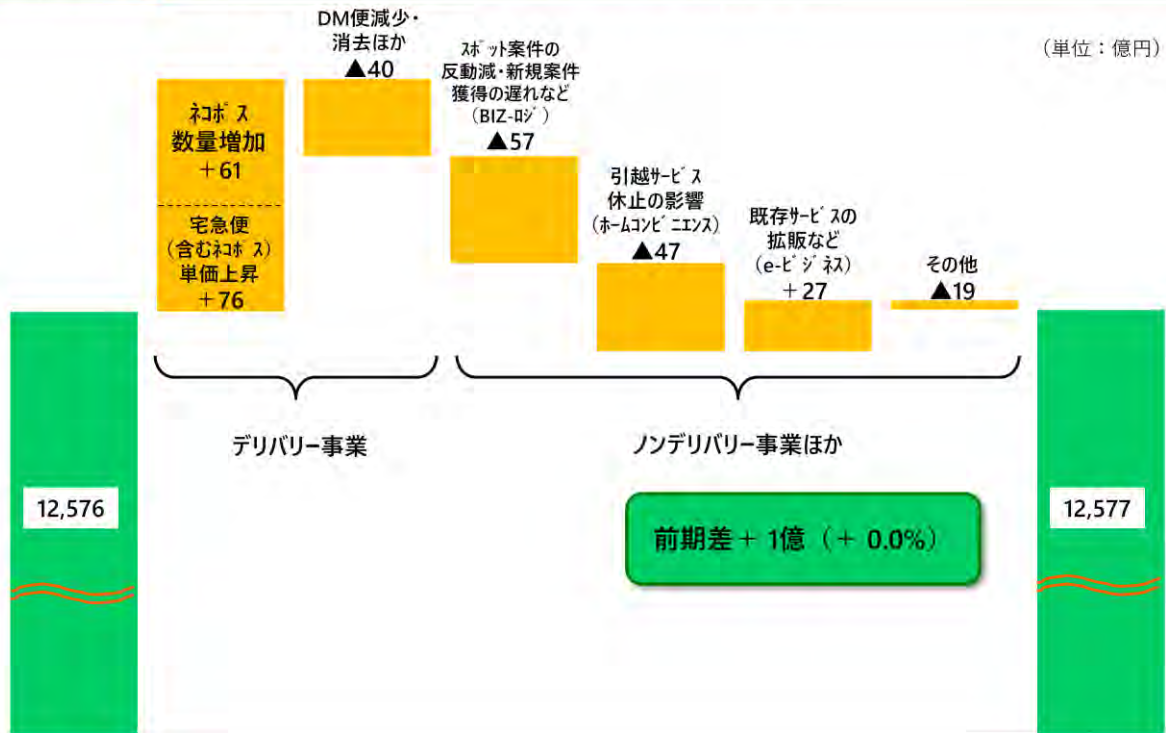
営業費用の増加を、営業収益の伸びで吸収できず減益

3. 営業外損益 ▲32億（前期差▲25億）

- (1) 営業外収益 18億（前期差▲ 0億）
- (2) 営業外費用 50億（前期差+ 25億）
 - ・ 持分法適用会社の投資損失 38億（前期差+ 23億）

4. 連結営業収益増減分析（第3四半期累計）

（単位：億円）

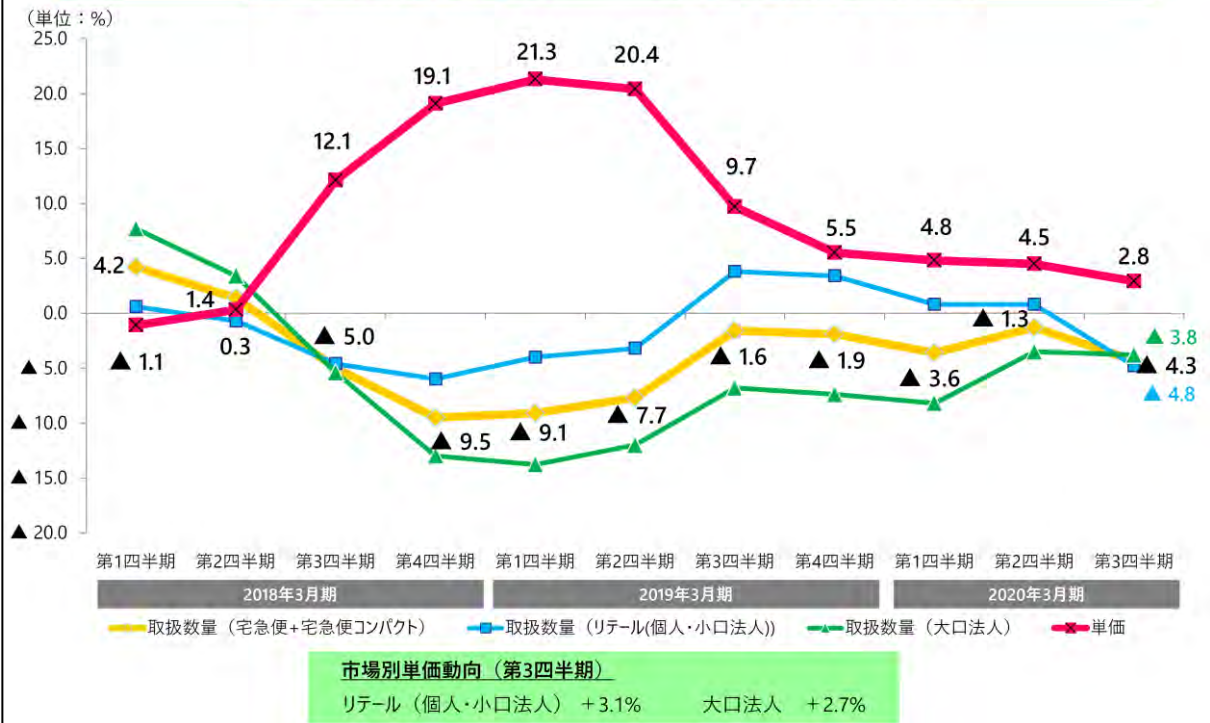


2019年3月期
第3四半期
実績

2020年3月期
第3四半期
実績

5. 宅急便（除くネコポス）数量動向（第3四半期（10月～12月））

宅急便（除くネコポス）の取扱数量は減少、単価は上昇
 （数量：前期比▲4.3% 単価：前期比+2.8%）

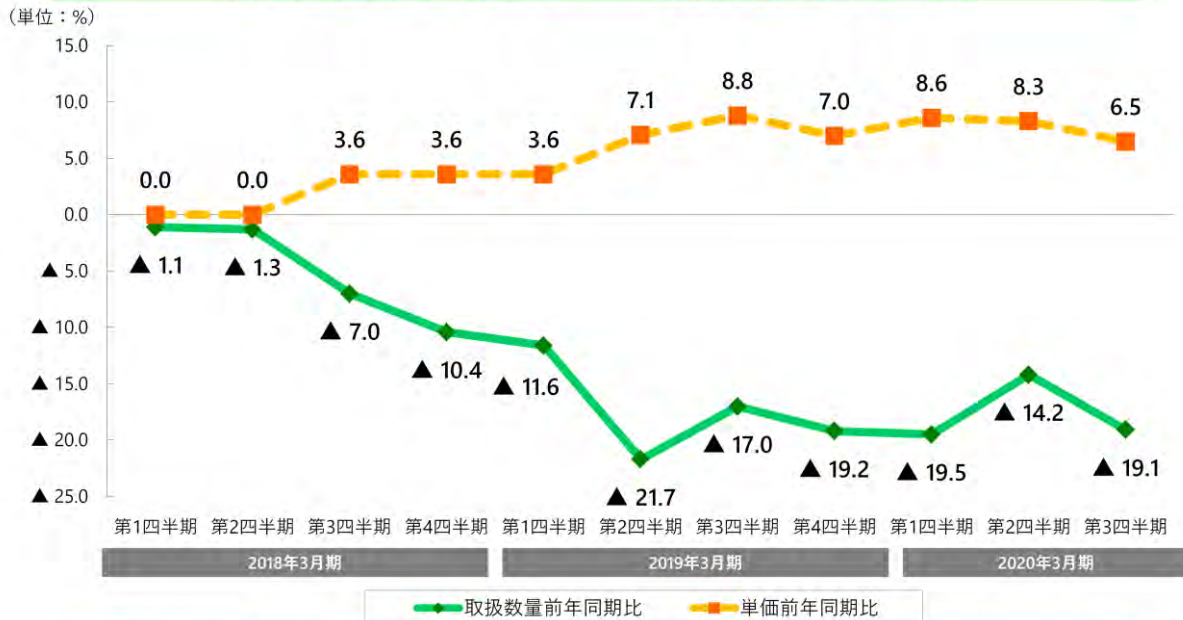


第3四半期（10～12月）は対前年の減少幅拡大（▲4.3%）

- ・ 台風など自然災害による影響、消費増税後の個人消費の低迷、大口法人顧客の取扱数量減少、国際情勢の不透明化に伴うB to B貨物の出荷減少等により苦戦

6. クロネコDM便動向（第3四半期（10月～12月））

クロネコDM便の取扱数量は減少、単価は上昇
 （数量：前期比▲19.1% 単価：前期比+6.5%）



市場別発送数量（第3四半期）

宅急便センター発 ▲14.6% 法人営業支店発 ▲20.8%

市場別発送単価（第3四半期）

宅急便センター発 +7.5% 法人営業支店発 +6.4%

7. 連結営業費用（単四半期推移）

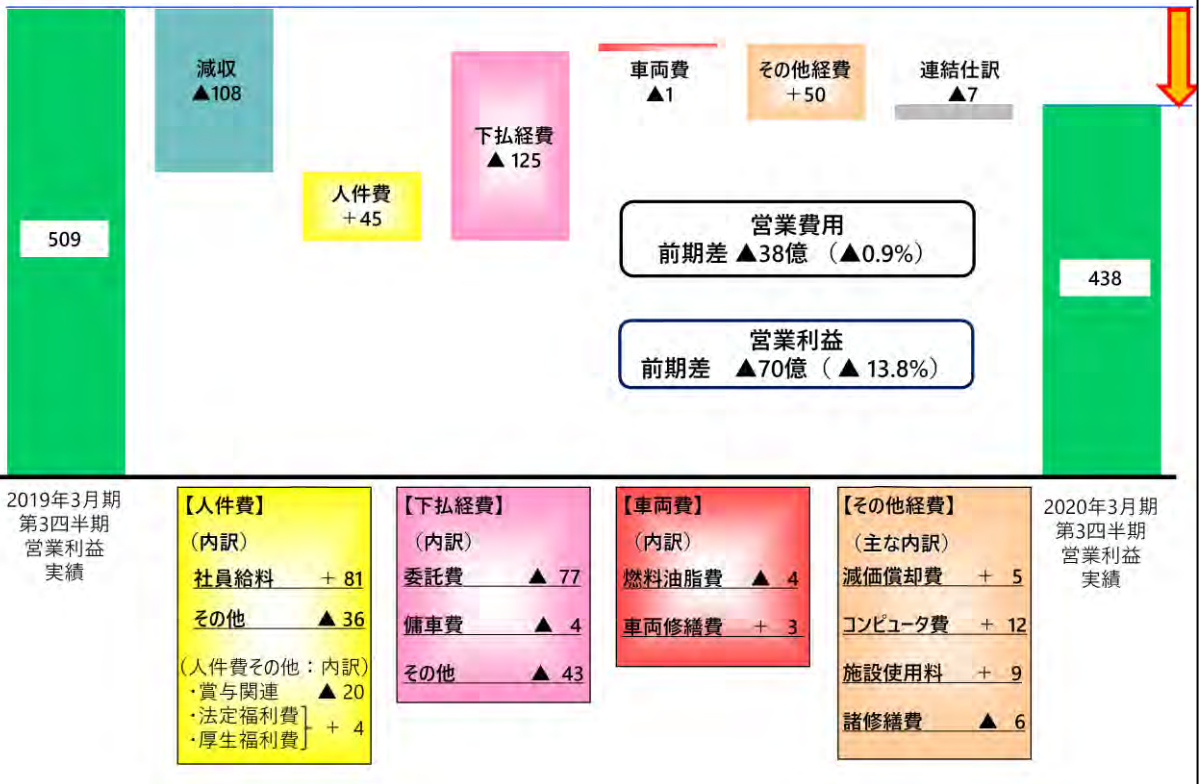
(単位：百万円)	第1四半期（4～6月）実績			第2四半期（7～9月）実績			第3四半期（10～12月）実績		
	実績	前期差	伸率（%）	実績	前期差	伸率（%）	実績	前期差	伸率（%）
営業収益	381,726	+ 1,036	+ 0.3	418,399	+ 9,958	+ 2.4	457,597	▲ 10,881	▲ 2.3
営業費用	387,827	+ 16,715	+ 4.5	406,084	+ 11,500	+ 2.9	413,734	▲ 3,836	▲ 0.9
人件費	207,581	+ 10,854	+ 5.5	218,164	+ 9,174	+ 4.4	219,393	+ 4,535	+ 2.1
社員給料	142,450	+ 6,598	+ 4.9	148,152	+ 6,931	+ 4.9	154,346	+ 8,162	+ 5.6
その他	65,131	+ 4,255	+ 7.0	70,012	+ 2,243	+ 3.3	65,047	▲ 3,627	▲ 5.3
下払経費	147,740	▲ 4,831	▲ 3.2	152,927	▲ 3,840	▲ 2.4	160,469	▲ 12,509	▲ 7.2
委託費	57,562	▲ 5,358	▲ 8.5	60,072	▲ 3,870	▲ 6.1	63,062	▲ 7,735	▲ 10.9
備車費	49,847	+ 2,116	+ 4.4	51,238	+ 1,639	+ 3.3	54,127	▲ 414	▲ 0.8
その他	40,330	▲ 1,589	▲ 3.8	41,616	▲ 1,609	▲ 3.7	43,280	▲ 4,359	▲ 9.2
車両費	11,961	+ 612	+ 5.4	12,550	+ 35	+ 0.3	12,889	▲ 132	▲ 1.0
燃料油脂費	5,777	+ 173	+ 3.1	6,426	▲ 343	▲ 5.1	6,006	▲ 459	▲ 7.1
その他経費	85,755	+ 6,184	+ 7.8	90,406	+ 6,544	+ 7.8	95,472	+ 5,005	+ 5.5
減価償却費	12,265	+ 1,564	+ 14.6	13,262	+ 1,453	+ 12.3	14,156	+ 557	+ 4.1
内部消去	▲ 65,212	+ 3,896	-	▲ 67,964	▲ 413	-	▲ 74,490	▲ 735	-
営業利益	▲ 6,100	▲ 15,679	-	12,314	▲ 1,541	▲ 11.1	43,863	▲ 7,044	▲ 13.8

2019年3月期第4四半期以降の取扱数量が弱含みで推移している中、推進してきたコストコントロールの成果が結実しつつある

営業費用全体での伸率も鈍化し、2020年3月期第3四半期では前年割れまで漕ぎつけることができた

8. 連結営業費用増減分析（第3四半期（10月～12月））

（単位：億円）



1. 人件費 + 45億 (+2.1%) : 集配体制の構築に向けた増員など
 - (1) 社員給料 + 81億 (+5.6%)
 - (2) 賞与関連 ▲ 20億 (▲7.8%)
 - (3) 厚生・法定福利費 + 4億 (+1.5%)

2. 下払経費 ▲125億 (▲7.2%)
 - (1) 委託費 ▲ 77億 (▲10.9%) : 業務量に応じた戦力配置の最適化を推進し、外部配達委託に係る費用を抑制
 - (2) 備車費 ▲ 4億 (▲0.8%) : 幹線輸送の効率化
 - (3) 下払経費その他 ▲ 43億 (▲9.2%)

3. 車両費 ▲ 1億 (▲1.0%)
 - (1) 燃料油脂費 ▲ 4億 (▲7.1%) : 燃料単価下落
 - (2) 車両修繕費 + 3億 (+5.0%)

4. その他経費 + 50億 (+5.5%)
 - (1) 減価償却費 + 5億 (+4.1%) : 車両や機械装置、建物など
 - (2) コンピュータ費 + 12億 (+12.8%) : 第8次NEKOシステムに係る費用など
 - (3) 施設使用料 + 9億 (+5.2%) : 宅配便ロッカーなど
 - (4) 諸修繕費 ▲ 6億 (▲15.5%) : 「働き方改革」推進による環境整備が一巡

9. 連結営業費用総括表（第3四半期（10月～12月））

(単位：百万円)	2019年3月期 第3四半期 実績	2020年3月期 第3四半期 実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
営業収益	468,478	457,597	▲ 10,881	▲ 2.3
営業費用	417,571	413,734	▲ 3,836	▲ 0.9
人件費	214,858	219,393	+ 4,535	+ 2.1
社員給料	146,183	154,346	+ 8,162	+ 5.6
その他	68,675	65,047	▲ 3,627	▲ 5.3
下払経費	172,979	160,469	▲ 12,509	▲ 7.2
委託費	70,798	63,062	▲ 7,735	▲ 10.9
備車費	54,541	54,127	▲ 414	▲ 0.8
その他	47,639	43,280	▲ 4,359	▲ 9.2
車両費	13,021	12,889	▲ 132	▲ 1.0
燃料油脂費	6,466	6,006	▲ 459	▲ 7.1
その他経費	90,466	95,472	+ 5,005	+ 5.5
減価償却費	13,598	14,156	+ 557	+ 4.1
内部消去	▲ 73,755	▲ 74,490	▲ 735	-
営業利益	50,907	43,863	▲ 7,044	▲ 13.8

10. 連結営業費用増減分析（第3四半期累計）

（単位：億円）



2019年3月期
第3四半期
営業利益
実績

【人件費】	
（内訳）	
社員給料	+216
その他	+28
（人件費その他：内訳）	
・賞与関連	+1
・法定福利費	+46
・厚生福利費	

【下払経費】	
（内訳）	
委託費	▲169
備車費	+33
その他	▲75

【車両費】	
（内訳）	
燃料油脂費	▲6
車両修繕費	+11

【その他経費】	
（主な内訳）	
減価償却費	+35
コンピュータ費	+29
施設使用料	+28
諸修繕費	+20

2020年3月期
第3四半期
営業利益
実績

- | | | |
|-------------|--------------|----------------------|
| 1. 人件費 | +245億（+4.0%） | ：集配体制の構築に向けた増員など |
| （1）社員給料 | +216億（+5.1%） | |
| （2）賞与関連 | +1億（+0.1%） | |
| （3）厚生・法定福利費 | +46億（+5.4%） | |
| 2. 下払経費 | ▲211億（▲4.4%） | |
| （1）委託費 | ▲169億（▲8.6%） | ：外部配達委託に係る費用を抑制 |
| （2）備車費 | +33億（+2.2%） | ：備車単価上昇等 |
| （3）下払経費その他 | ▲75億（▲5.7%） | |
| 3. 車両費 | +5億（+1.4%） | |
| （1）燃料油脂費 | ▲6億（▲3.3%） | ：燃料単価下落 |
| （2）車両修繕費 | +11億（+6.3%） | |
| 4. その他経費 | +177億（+7.0%） | |
| （1）減価償却費 | +35億（+9.9%） | ：車両や機械装置、建物など |
| （2）コンピュータ費 | +29億（+10.4%） | ：第8次NEKOシステムに係る費用など |
| （3）施設使用料 | +28億（+5.4%） | ：車両リース、宅配便ロッカーなど |
| （4）諸修繕費 | +20億（+18.9%） | ：「働き方改革」の推進による環境整備など |

11. 連結営業費用総括表（第3四半期累計）

(単位：百万円)	2019年3月期 第3四半期 実績	2020年3月期 第3四半期 実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
営業収益	1,257,610	1,257,724	+ 113	+ 0.0
営業費用	1,183,267	1,207,647	+ 24,379	+ 2.1
人件費	620,576	645,140	+ 24,564	+ 4.0
社員給料	423,255	444,948	+ 21,693	+ 5.1
その他	197,320	200,192	+ 2,871	+ 1.5
下払経費	482,319	461,138	▲ 21,181	▲ 4.4
委託費	197,661	180,697	▲ 16,964	▲ 8.6
備車費	151,872	155,213	+ 3,341	+ 2.2
その他	132,785	125,226	▲ 7,558	▲ 5.7
車両費	36,885	37,400	+ 514	+ 1.4
燃料油脂費	18,840	18,211	▲ 629	▲ 3.3
その他経費	253,900	271,634	+ 17,734	+ 7.0
減価償却費	36,108	39,684	+ 3,575	+ 9.9
内部消去	▲ 210,414	▲ 207,667	+ 2,747	-
営業利益	74,343	50,077	▲ 24,266	▲ 32.6

12. 2020年3月期 連結業績予想（セグメント別内訳）

(単位：百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 前回予想	2020年3月期 今回予想	前回予想比較		前期比較	
				増減	伸率 (%)	増減	伸率 (%)
営業収益							
デリバリー事業	1,297,222	1,337,000	1,311,000	▲ 26,000	▲ 1.9	+13,777	+1.1
BIZ-ロジ事業	147,437	152,000	147,000	▲ 5,000	▲ 3.3	▲ 437	▲ 0.3
ホームコンビニエンス事業	33,404	32,000	28,000	▲ 4,000	▲ 12.5	▲ 5,404	▲ 16.2
e-ビジネス事業	26,592	28,000	28,000	0	0.0	+1,407	+5.3
フィナンシャル事業	79,966	81,000	76,000	▲ 5,000	▲ 6.2	▲ 3,966	▲ 5.0
オートワークス事業	25,985	27,000	27,000	0	0.0	+1,014	+3.9
その他	14,705	13,000	13,000	0	0.0	▲ 1,705	▲ 11.6
合計	1,625,315	1,670,000	1,630,000	▲ 40,000	▲ 2.4	+4,684	+0.3
営業利益							
デリバリー事業	40,787	41,000	22,000	▲ 19,000	▲ 46.3	▲ 18,787	▲ 46.1
BIZ-ロジ事業	3,329	5,000	5,000	0	0.0	+1,670	+50.2
ホームコンビニエンス事業	▲ 7,764	▲ 7,000	▲ 8,000	▲ 1,000	-	▲ 235	-
e-ビジネス事業	8,740	11,000	11,000	0	0.0	+2,259	+25.9
フィナンシャル事業	6,244	7,000	6,000	▲ 1,000	▲ 14.3	▲ 244	▲ 3.9
オートワークス事業	4,433	5,000	5,000	0	0.0	+566	+12.8
その他	19,372	40,000	39,000	▲ 1,000	▲ 2.5	+19,627	+101.3
小計	75,144	102,000	80,000	▲ 22,000	▲ 21.6	+4,855	+6.5
内部消去	▲ 16,798	▲ 40,000	▲ 40,000	0	-	▲ 23,201	-
合計	58,345	62,000	40,000	▲ 22,000	▲ 35.5	▲ 18,345	▲ 31.4
経常利益	54,259	59,000	37,000	▲ 22,000	▲ 37.3	▲ 17,259	▲ 31.8
(利益率)	3.3%	3.5%	2.3%	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	25,682	32,000	20,000	▲ 12,000	▲ 37.5	▲ 5,682	▲ 22.1
(利益率)	1.6%	1.9%	1.2%	-	-	-	-
数量 (千個)							
宅急便・宅急便コンパクト	1,668,280	1,664,000	1,628,000	▲ 36,000	▲ 2.2	▲ 40,280	▲ 2.4
ネコポス	135,250	184,000	176,000	▲ 8,000	▲ 4.3	+40,749	+30.1
クロネコDM便	1,211,525	1,060,000	1,060,000	0	0.0	▲ 151,525	▲ 12.5
単価 (円)							
宅急便・宅急便コンパクト	702	724	725	+1	+0.1	+23	+3.3
ネコポス	191	200	200	0	0.0	+9	+4.7
クロネコDM便	60	63	63	0	0.0	+3	+5.0

1. 営業収益：1兆6,300億（前回予想差▲400億）

(1) デリバリー事業

宅急便（除くネコポス）、ネコポスとも単価は上昇しているものの、宅急便（除くネコポス）の数量が弱含みで推移していることを踏まえ、前回予想を変更

(2) ホームコンビニエンス事業

9月より、個人のお客様を対象とした新たな単身者向け引越サービスを提供開始したが、他の引越サービスの再開が未定のため前回予想を変更

(3) BIZ-ロジ事業、フィナンシャル事業

足元の状況を踏まえ、前回予想を変更

2. 営業利益：400億（前回予想差▲220億）

業務量に応じた戦力配置の適正化による、人件費、下払経費を中心としたコストコントロールの推進により、営業費用は前回予想差▲180億とし、営業利益は前回予想差▲220億

3. 経常利益：370億（前回予想差▲220億）

営業利益予想の変更を踏まえ、前回予想を変更

4. 親会社株主に帰属する当期純利益：200億（前回予想差▲120億）

経常利益予想の減額に伴い、前回予想を変更

13. 2020年3月期 連結業績予想（営業費用内訳）

(単位：百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 前回予想	2020年3月期 今回予想	前回予想比較		前期比較	
				増減	伸率 (%)	増減	伸率 (%)
				営業収益	1,625,315	1,670,000	1,630,000
営業費用	1,566,969	1,608,000	1,590,000	▲ 18,000	▲ 1.1	+ 23,030	+ 1.5
人件費	821,715	860,000	855,000	▲ 5,000	▲ 0.6	+ 33,284	+ 4.1
社員給料	564,377	591,000	590,000	▲ 1,000	▲ 0.2	+ 25,622	+ 4.5
その他	257,338	269,000	265,000	▲ 4,000	▲ 1.5	+ 7,661	+ 3.0
下払経費	629,645	612,000	598,000	▲ 14,000	▲ 2.3	▲ 31,645	▲ 5.0
委託費	256,817	235,000	232,000	▲ 3,000	▲ 1.3	▲ 24,817	▲ 9.7
備車費	201,377	206,000	203,000	▲ 3,000	▲ 1.5	+ 1,622	+ 0.8
その他	171,449	171,000	163,000	▲ 8,000	▲ 4.7	▲ 8,449	▲ 4.9
車両費	46,656	50,000	48,000	▲ 2,000	▲ 4.0	+ 1,343	+ 2.9
燃料油脂費	23,981	25,000	24,000	▲ 1,000	▲ 4.0	+ 18	+ 0.1
その他経費	342,602	376,000	369,000	▲ 7,000	▲ 1.9	+ 26,397	+ 7.7
減価償却費	51,346	55,000	53,000	▲ 2,000	▲ 3.6	+ 1,653	+ 3.2
内部消去	▲ 273,649	▲ 290,000	▲ 280,000	+ 10,000	-	▲ 6,350	-
営業利益	58,345	62,000	40,000	▲ 22,000	▲ 35.5	▲ 18,345	▲ 31.4
従業員数合計（人）	225,125	232,000	228,500	▲ 3,500	▲ 1.5	+ 3,375	+ 1.5
フルタイム	97,587	100,000	99,500	▲ 500	▲ 0.5	+ 1,913	+ 2.0
パートタイム	127,538	132,000	129,000	▲ 3,000	▲ 2.3	+ 1,462	+ 1.1
設備投資総額（百万円）	83,514	85,000	70,000	▲ 15,000	▲ 17.6	▲ 13,514	▲ 16.2

1. 営業費用全体：前回予想から180億減少

(1) 人件費：▲50億

業務量に応じた戦力配置の適正化によるコストコントロールの推進に伴い、従業員数の予想を前回予想から減少させたことを踏まえ、前回予想を変更

(2) 下払経費：▲140億

① 委託費：▲30億

業務量に応じた戦力配置の適正化によるコストコントロールを踏まえ、前回予想を変更

② 備車費▲30億

幹線輸送効率化の推進を踏まえ、前回予想を変更

③ その他▲80億

足元の状況を踏まえ、前回予想を変更

(3) その他経費：▲70億

設備投資の足元の状況を踏まえ、減価償却費を前回予想から変更したほか、その他の費用についても足元の状況を踏まえ前回予想を変更

2. 設備投資

足元の投資の状況を踏まえ、前回予想から150億減少（850億→700億）

14. 資本政策

今後の成長性と収益性および、健全性、投資の進捗状況、資本効率などを踏まえ、安定的な配当と機動的な株主還元に向け、適時適切な資本政策を検討

**自己株式
取得／消却
(上限500億円)**

- ・ 株主価値向上の観点から、機動的な資本政策として実施
- ・ 取得した全株式数を消却

**創業100周年
記念配当
(10円／株)**

- ・ 創業100周年を迎え、株主の皆さまに感謝の意を表するため、1株当たり10円の記念配当を実施

- ・ 財務の健全性に配慮しつつ、資本効率やキャッシュフローの状況などを踏まえ、今般、現中期経営計画の期間中において実施していなかった「自己株式の取得」と、100周年という節目での「記念配当」を合わせた、株主還元を実施
- ・ 今後も、株主価値の向上に向け、これまで以上に資本効率を重視した経営に取り組む方針のもと、投資とのバランスに配慮しつつ、適時適切な資本政策を検討し、安定的な配当と機動的な資本政策を実施していく

【参考資料】 連結営業収益増減分析（第3四半期累計）

(単位：億円)

前期差 +1億 (+0.0%)

デリバリー
+97

BIZ-ロジ
▲57

ホーム
コンビニエンス
▲47

e-ビジネス
+27

フィナンシャル
▲23

オートワークス
▲6

その他
+10

12,576

12,577

1. デリバリー 【宅急便 市場別数量】

国内	
①宅急便(3商品合計)	1,390,023千個 (▲0.7%)
②宅急便・宅急便コンパクト	1,262,539千個 (▲3.1%)
③ネコポス	127,483千個 (+31.5%)
《宅急便3商品合計内訳》	
①大口法人	649,858千個 (▲3.3%)
②リテール	740,165千個 (+1.6%)
《リテール内訳》	
i)個人	99,637千個 (▲1.9%)
ii)小口法人	640,527千個 (+2.2%)
海外	
	3,215千個 (▲37.0%)

2. BIZ-ロジ (※1) 【主要サブセグメント動向】

①国際物流	▲25億 (▲5.4%)
(内訳)	
・貿易物流	▲16億 (▲5.3%)
・その他	▲8億 (▲5.7%)
②国内物流	▲31億 (▲3.6%)
(内訳)	
・販売物流	▲25億 (▲6.1%)
・リハースロジ	▲6億 (▲4.0%)
・ヘルスクアロジ	▲1億 (▲1.4%)
・その他	+1億 (+0.8%)
③消去・その他	▲1億 (-%)

3. ホームコンビニエンス (※2) 【主要サブセグメント動向】

①ホームコンビニエンス	▲59億 (▲16.5%)
②消去・その他	+12億 (-%)
5. フィナンシャル 【主要サブセグメント動向】	
①ペイメント	▲20億 (▲8.5%)
②リース	▲2億 (▲0.9%)
③クレジットファイナンス	▲1億 (▲4.0%)
④消去・その他	+0億 (-%)

4. e-ビジネス 【主要サブセグメント動向】

①カードソリューション	+16億 (+24.6%)
②ITオペレーティング	+7億 (+13.7%)
③e-通販ソリューション	+5億 (+11.0%)
④消去・その他	▲1億 (-%)
6. オートワークス 【主要サブセグメント動向】	
①トラックソリューション	▲3億 (▲0.9%)
②消去・その他	▲3億 (-%)

2019年3月期
第3四半期
実績

(注) 下記事業の区分変更 (2019年4月1日実施) に伴い、2019年3月期の数値を一部組替

※1. BIZ-ロジ事業

- ・販売物流サービス、e-ロジソリューションを販売物流として表示
- ・マルチメンテナンス、テクニカルネットワーク、その他に含めていたセットアップ・ロジソリューションをリバースロジスティクスとして表示
- ・メディカルロジスティクスおよびその他に含めていたe-オンデマンドソリューションをヘルスクアロジスティクスとして表示

※2. ホームコンビニエンス事業

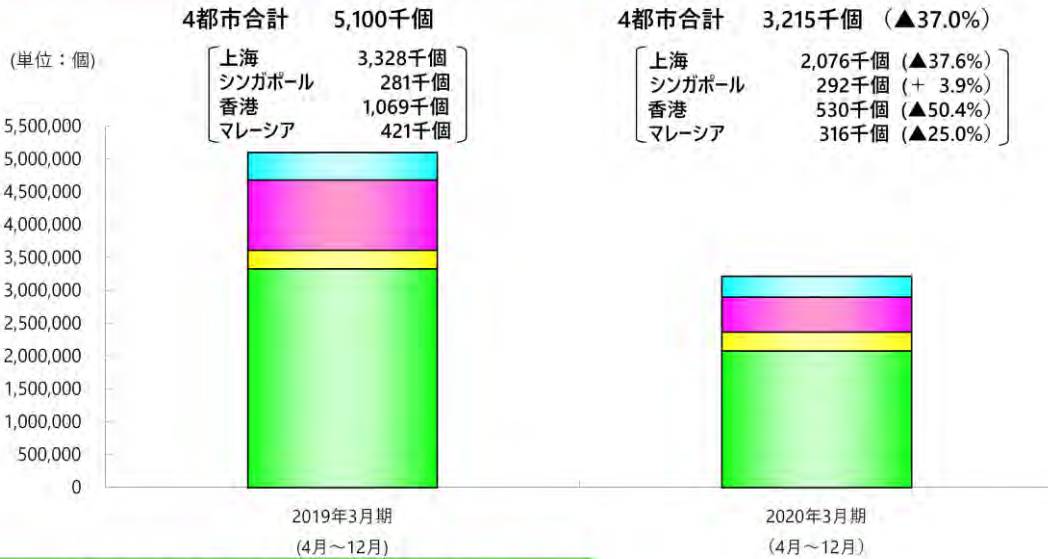
- ・ビジネスコンビニエンスをホームコンビニエンスに含めて表示

2020年3月期
第3四半期
実績

【参考資料】 海外宅急便動向（第3四半期累計）

「海外4都市（ヤマトグループ直轄）」取扱数量

■ 上海 ■ シンガポール ■ 香港 ■ マレーシア



「海外4都市 + 台湾」取扱数量

2019年3月期
第3四半期
累計実績
84,465千個

2020年3月期
第3四半期
累計実績
83,024千個 (▲1.7%)

【参考資料】「デリバリ-事業」営業費用総括表（第3四半期（10月～12月））

(単位：百万円)	2019年3月期 第3四半期 実績	2020年3月期 第3四半期 実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
営業収益	383,625	376,125	▲ 7,500	▲ 2.0
営業費用	339,178	337,756	▲ 1,422	▲ 0.4
人件費	187,935	192,066	+ 4,130	+ 2.2
社員給料	127,819	135,743	+ 7,924	+ 6.2
その他	60,116	56,322	▲ 3,793	▲ 6.3
下払経費	104,590	95,863	▲ 8,726	▲ 8.3
委託費	43,770	36,149	▲ 7,621	▲ 17.4
備車費	52,423	51,954	▲ 468	▲ 0.9
その他	8,395	7,759	▲ 636	▲ 7.6
車両費	11,503	11,579	+ 76	+ 0.7
燃料油脂費	5,333	5,053	▲ 280	▲ 5.3
その他経費	66,524	68,574	+ 2,050	+ 3.1
減価償却費	9,922	10,608	+ 685	+ 6.9
内部消去	▲ 31,375	▲ 30,328	+ 1,047	-
営業利益	44,446	38,368	▲ 6,078	▲ 13.7

(注) 上記数値は海外宅急便事業に関わる営業費用を含む

【参考資料】「デリバリ-事業」営業費用総括表（第3四半期累計）

(単位：百万円)	2019年3月期 第3四半期 実績	2020年3月期 第3四半期 実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
営業収益	1,006,762	1,016,547	+ 9,785	+ 1.0
営業費用	947,334	981,741	+ 34,407	+ 3.6
人件費	539,280	563,088	+ 23,808	+ 4.4
社員給料	367,943	389,421	+ 21,478	+ 5.8
その他	171,336	173,666	+ 2,329	+ 1.4
下払経費	285,072	273,881	▲ 11,190	▲ 3.9
委託費	117,113	103,180	▲ 13,932	▲ 11.9
備車費	144,794	148,621	+ 3,827	+ 2.6
その他	23,164	22,078	▲ 1,086	▲ 4.7
車両費	32,651	33,589	+ 937	+ 2.9
燃料油脂費	15,651	15,388	▲ 262	▲ 1.7
その他経費	181,452	196,032	+ 14,579	+ 8.0
減価償却費	25,218	29,028	+ 3,810	+ 15.1
内部消去	▲ 91,121	▲ 84,849	+ 6,272	-
営業利益	59,427	34,806	▲ 24,621	▲ 41.4

(注) 上記数値は海外宅急便事業に関わる営業費用を含む

本資料（解説付き）および説明会質疑応答の議事録は、
PDF形式で弊社ホームページ「株主・投資家情報」でご覧頂けます。

免責事項：この内容は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。提供情報の内容については万全を期しておりますが、完全性、正確性を保証するものではありません。いかなる情報も、不的確な記載や誤植等を含む可能性があります。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご承知ください。